

バーモント州上院議会

(州都モンツピーリアにて)

上院議会決議

上院議員：レイシン、カニングズ、アッシュ、エイヤー、バートレット、キャンベル、カリス、チョエイト、フラナガン、ギアード、ハートウェル、キツェル、リオン、マクドナルド、マックコーマック、ミラー、シアーズ、シャムリン、スネリング、スター、ホワイト

S.R.20 オバマ大統領に核兵器廃絶条約の交渉開始提案を求める上院決議

核兵器は文明、人類、生命そのものに脅威を与え続けており、国際テロリストが核兵器を入手しようとする一方でさらに多くの国がこれの開発を追求しており、

前国務長官のヘンリー・キッシンジャーとジョージ・シュルツ、前国防長官ウィリアム・ペリー、前米国上院軍事委員会議長のサム・ナンが核兵器の与える脅威を認め、すべての核兵器の完全廃絶を繰り返し求めており、

米国納税者は、本来、学校、道路、橋梁を再建し、再生可能エネルギー経済を創り、人々に雇用をうむことができるはずの毎年 520 億ドルもの金を核兵器計画や開発のために費やしており、

核兵器貯蔵の原因となった冷戦は 20 年前に終結したにも関わらず、すぐにでも使用できる状態の核兵器が何千発も残っており地球上のほとんどの生命を奪う力を持っており、

オバマ大統領がこの最も破壊的な兵器の世界的な廃絶に向けて行動する意思を表明し、メドベージェフ大統領と共にこの兵器の廃絶について賛成し、国際的な核軍縮の要である核不拡散条約 (NPT) が 2010 年 4 月 (ママ) より国連本部にて開かれる再検討の対象となっており、アメリカと他の核保有国は核廃絶の交渉を開始するという第 6 条の定める未達成の義務を負っており、

ゆえに、上院は以下決議する：

バーモント州上院議会は、米国大統領に 2010 年 4 月から国連で行われる NPT 再検討会議に、相互的で確実な核兵器廃絶国際条約の交渉開始のための計画を提出するよう求め、さらに、

州議会上院長官に、本決議を米国大統領およびバーモント州下院議会に送付し、あわせて会議記録に残すよう指示する。